

企業会員募集

産学連携による産業人材育成のサステナブルな地域システム創り

企業会員とは

ものづくりのまちー北九州の確かな成長を支える「産業人材育成」の必要性を理解し、自社の人材育成と合わせて、地域の産業人材育成を協働して行う「北九州地域産業人材育成フォーラム」を支える企業です。

企業会員の募集

- 対象者 北九州市及び近隣市町の製造業等
- 負担金 年会費 30,000円
- 会員数 目標 200社

企業会員の役割

フォーラムは、ステークホルダーである大学・企業・学生・技術者等が事業に参画し、事業を活用することによって成立します。

- フォーラムの運営理念を理解し、フォーラムの事業を協働し、フォーラムの発展に尽くすこと。
- 地域の産業人材育成について、リーダーシップを発揮すること。
- フォーラムの持続的発展のために運営費を分担すること。

企業会員のメリット

フォーラム事業の活用

1 企業の認知度・社会的評価の向上

フォーラム事業を通じて多面的に大学、行政、産業界との交流が可能となり、認知度の向上、社会的評価の向上機会に恵まれます。

2 インターンシップ事業の活用

インターンシップを通じて、企業の認知度を高め、新卒学生採用者の採用可能性の向上等、採用環境の開発が出来ます。毎年、学生募集ツールに企業会員の企業情報を掲載し、インターンシップ対象学生（連携大学の2年/3年学部生、修士）に周知します。

実践型インターンシップ（研究型・課題解決型）を通じて、自社の課題解決、従業員のモチベーションの向上が期待されます。

3 社会人プログラム事業の活用

ドクターチャレンジプログラム、テクニカルカレッジ等の活用により技術者のリカレント、スキルアップ教育機会を得て、人材力の向上と大学との実践的な関係づくりが出来ます。

フォーラムの各種イベントの活用

- 産業人材育成に関する専門的なセミナー講演会等の活用が可能です。

地域大学との連携・関係強化

- 大学関連行事への参加、研究者との交流、技術相談機会の開拓など、大学との連携の環境が構築できます。

多様な情報の受発信

- 関係機関の各種情報の活用及び企業情報の発信、また企業PR機会の活用など、情報の受発信の環境が広がります。
- フォーラム参加大学（地元理工4大学・高専）の学生がアクセスするフォーラムのHPに企業情報の掲載と企業HPのリンクが出来ます。



中堅・中小企業の人材育成による
地域力強化・次世代のものづくり人材の育成

Kitakyushu Forum

for Development of Human resources and Industries

北九州地域産業人材育成フォーラムのご案内

お問合せ先



北九州地域産業人材育成フォーラム

Kitakyushu Forum for Development of Human resources and Industries

事務局 (公財) 北九州活性化協議会内

北九州市小倉北区古船場町1-35 Mail: info-jinzai@kpac.or.jp

TEL 093-541-3122 / FAX 093-541-0636

《フォーラムHP》 <http://www.kpec.or.jp/jinzai/>



インターンシップ
情報サイト

北九州地域産業人材育成フォーラム事業の目的

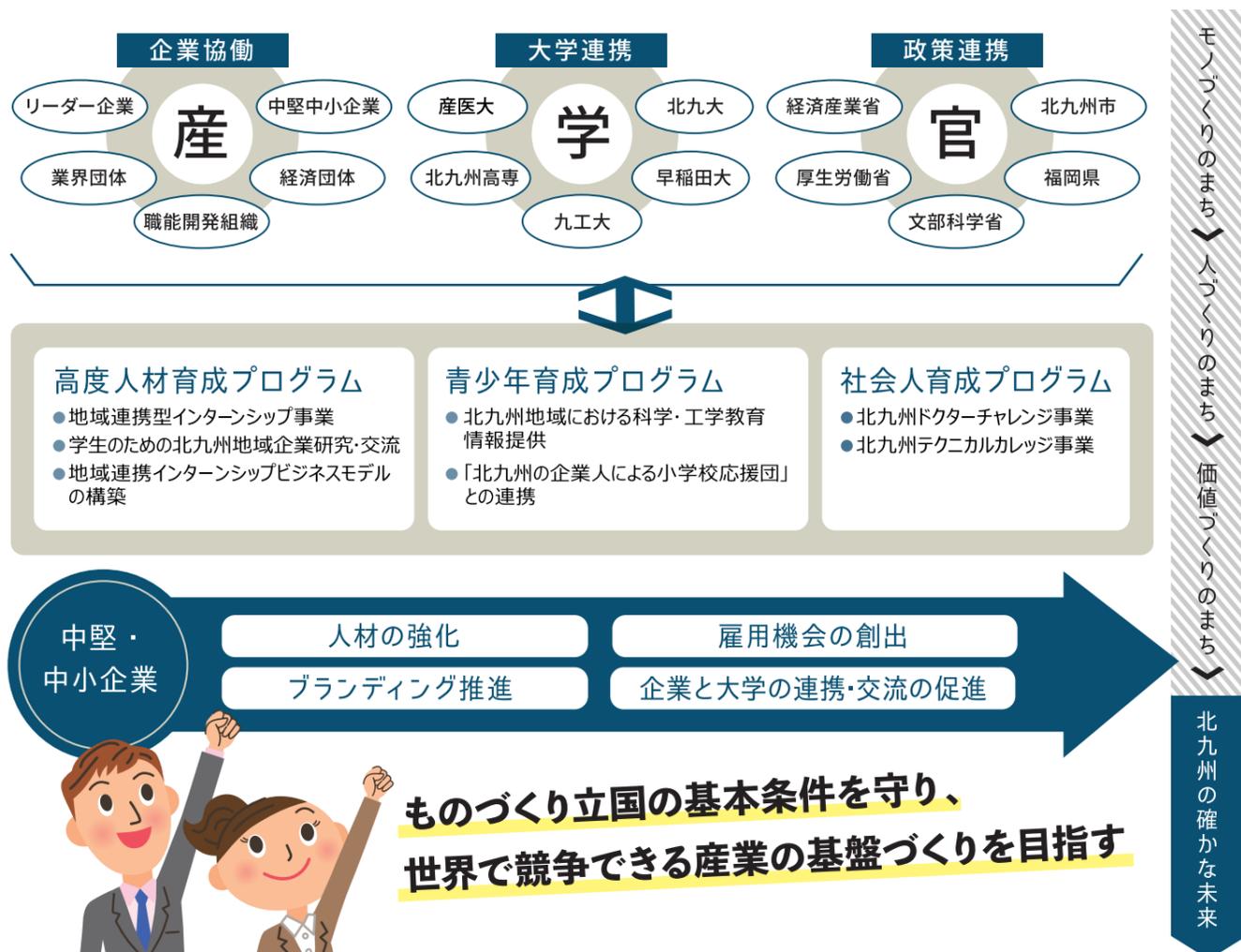
- 1 産学官民の連携による 新しい産業人材育成の持続型地域システムの構築
- 2 地域産業の成長の原単位である 中堅・中小企業の経営力(人材力)の強化
- 3 北九州市の都市戦略として 地方創生(産業政策)の実践モデルの創発



都市の産業基盤である中堅・中小企業の経営力強化のために、産業人材育成の持続的な仕組みづくりを地域一丸(産学官協働)となって推進

北九州地域産業人材育成フォーラムの事業構成

中堅・中小企業の人材育成による地域力強化・次世代のものづくり人材の育成



社会人プログラムのご案内

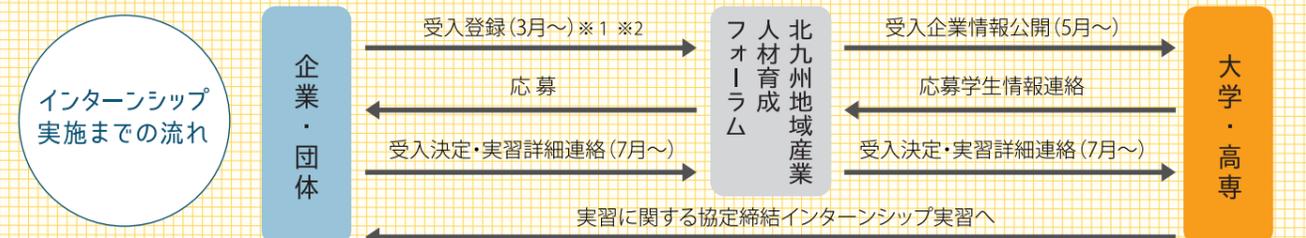
中核技術人材等の育成

▶ 技術力強化とスキル向上に有効な教育プログラムの活用促進のための支援

- ① ドクターチャレンジプログラム: 九工大大学院及び北九大国際環境工学部大学院の「長期履修制度」
- ② テクニカルカリッジプログラム: 教育・研究及び技術上の専門知識に基づく助言及び講習等を行う九工大の「学術コンサルティング制度」

高度人材育成プログラム「地域連携型インターンシップ」学生受入のお願い

産業人材育成フォーラムが実施する「地域連携型インターンシップ」は、地元北九州及びその周辺地域の中堅・中小企業と地元工学系大学が一体となって実施しています。企業と学生そして地域と大学をつなぎ、新しい形での地域創生を目指す他に例のない全く新しい人材育成と活用の取り組みです。



- 対象学生**
- 九州工業大学(全学部・専攻): 学部1~3年生、大学院1年生
 - 北九州市立大学(国際環境工学部・研究科): 学部1~3年生、大学院1年生
 - 北九州工業高等専門学校(全コース・専攻科): 本科4年生、専攻科1年生
 - 産業医科大学(産業保健学部環境マネジメント学科): 学部2~3年生
 - 早稲田大学(大学院情報生産システム研究科): 大学院1年生
- ※1 専用フォーマットに実施内容等をご記入いただき、ご登録。各種書式はWEBからダウンロード、もしくは電子メールにてご案内致しますので、事務局までお問合せください
 ※2 登録サポートをコーディネーター(NPO法人北九州テクノサポート)が担当し、企業情報をより正確に発信いたします

研修型(短期)インターンシップ

Short-term internship

ねらい ▶ 大学から職場・社会への円滑な移行の確保(仕事理解/採用誘発)

	月	火	水	木	金
午前 8:30~12:00					
昼休み	5~10日間 (終日、連続して実施)				
午後 13:00~17:30					

- [時期] 概ね8月中旬~9月下旬の夏期休暇中
 [期間] 5~10日間(終日)
 [形態] 無給
 ● 会社説明・工場見学・現場実習・先輩社員との懇談など

参加学生の声

● 実際に社員の方が働いている様子を見て感じて、たくさん吸収することがあった。仕事内容だけでなく取り組み方の姿勢など学ぶことが多かった。 ● 会社というイメージがあまり持てなかったが、今回のインターンシップで実際に働いている方と接することで、会社のイメージや会社で働くというイメージを持つことができた。 ● 多角的な面から考えることの大切さを感じた。 ● 自分が社会で活躍するためにはまだ自分の能力を上げる必要があると気付かされた。 ● 学校で学んだことが実際の現場で利用されているところを見るのはとても楽しかった。 ● 就活に対してネガティブなイメージを持っていましたが、実際早めに参加してみて、これから先の就活の不安が少なくなりました。 ● 大学で学んだことをさらに深め、今後の大学での学びにつながるインターンシップだったと思います。 ● 自分があまり興味のない企業だとしても、行ってみると視野が広がるので色々なインターンシップに行くべきだと思った。 ● 働くイメージやその企業の特色や雰囲気を知ることができるので、インターンシップには参加して欲しいと思う。自分が就職したい企業には、必ず参加し、そうでなくても、業種や職種について理解が深まるのでおすすめです。

実践型(長期)インターンシップ

Long-term internship

ねらい ▶ 将来の産業界を担う若者の育成(事業参画/課題解決/研究協働)

	月	火	水	木	金
午前 8:30~12:00		授業	授業	授業	
昼休み	週に1~2日間 (調整が可能であれば、半日~2日間)				
午後 13:00~17:30		授業	授業	授業	

- [時期] 概ね8月中旬~ ※学生と調整のうえ決定
 [期間] 約3~6ヵ月
 [形態] ステップ① 数日~1ヵ月程度の研修(無休)
 ● 会社説明・工場見学・現場実習・先輩社員との懇談など
 ステップ② 約2~5ヵ月程度の実務(有休)
 ● 授業の履修状況をふまえ、週1~2日程度の勤務
 ● 有給での研修
 ● 企業の一員として課題発見・解決の業務に取り組む

参加企業の声

● 熱心な学生に来ていただけて嬉しく思います。また、今回のインターンシップの改善点等も学生からヒアリング出来たので次回に活かそうと思います。
 ● 学生の母集団形成が非常に難しいため、学生と直接接点があるインターンシップを今後も積極的に活用していきたいと考えています

経営・管理者の経営課題解決および経営力強化

▶ 地域企業の経営課題解決および経営力強化の支援 ※①と②は北九大大学院マネジメント研究科(以下「K2BS」と連携

- ① K2BSの職業人の養成機能を活用したMBA活用プログラム「MBAサテライトフォーラム」
- ② ケースメソッドによる実践的経営学講座(車座塾)の企画・実施
- ③ 企業の経営管理者等向け「自社の魅力認識講座」の企画・実施